

Corporate Social Responsibility Report

# CSR報告書 2021

 朝日印刷株式会社



# Contents

○トップメッセージ	3
○経営理念・基本方針	4
○中期経営計画・CSR方針	5
○会社情報・拠点一覧	6
○事業内容	7
○事業の状況	8
○財務ハイライト（連結）	9
○特集記事	
・京都クリエイティブパーク西棟竣工	10
○朝日印刷のCSRテーマ	
・お客様満足の上昇	12
・従業員満足の上昇	14
・公正で透明性の高い経営	16
・次世代に受け継ぐモノづくり	18
・社会との調和	20
○事業関連データ（財務・非財務情報）	22

## 編集方針

2018年度から、CSR活動を本格的にスタートし、以前からの取り組みの取りまとめも含めて活動を進めてきました。今回、多様なステークホルダーの方々とのコミュニケーションのツールとして「CSR報告書2021」を作成しました。こちらは、主に当社の非財務活動に関連するCSR活動についてご説明する年次報告書となります。

当社のCSR活動について、多くの方々に理解を深めてもらうために、今後も内容を充実させていきます。ご意見・ご感想がありましたらなんなりとお聞かせください。

## 報告対象組織

本レポートは、朝日印刷株式会社単体の活動報告となり、連結会社は除外しています。連結会社も含めた報告は、今後の対応事項として検討を進めていきます。

## 報告期間

2020年04月01日 ～ 2021年03月31日  
※実績データ以外の項目においては、2021年度の内容も含まれます。

## 参考ガイドライン

環境報告ガイドライン2018年度版（環境省）、ISO26000：2010

## 本書における注意事項

本書に掲載されている当社の計画、見通し、戦略、判断などのうち、過去の歴史的事実以外のものは、当社の将来の見通しに関する表明であり、当社の経営陣が現在入手可能な情報・仮定及び判断に基づいて作成されており、様々なリスクや不確実性を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績は様々な要因によって変動する可能性があります。

## 「包材」の提供を通じて持続可能な社会を実現する

今、世界では激動の時代を迎えています。地球温暖化による気候変動、自然災害の発生、海洋プラスチックごみなど様々な問題が山積する中、新型コロナウイルス感染症による世界規模での感染拡大が起これ、これまでの価値観の変化や行動変容を求められる事態が巻き起こっています。

その影響は甚大であり、世界中が今後の社会のあり方を自らに問う機会となりました。朝日印刷もまた社会の一員として事業経営を通じて社会の持続可能性に取り組む契機としていかなければならないと考えます。

このような厳しい環境の中、2021年4月1日付で私、朝日重紀が代表取締役社長に就任しました。新経営体制のもと、さらなる飛躍・発展に向け、新たな改革に向け歩を進めたいと考えます。また当社はこの度、会社設立75周年を迎え、さらに来年には創業150年という大きな節目を迎えます。歴史に重みを感じながら、先人たちが残した有形無形の財産を大切にして、企業価値を高め、社会に貢献していく事が私に与えられた使命と考えています。

私の祖父であり朝日印刷を設立した朝日重利が、経営者として実践したのは、「従業員の幸せ」をなによりも大切にされた経営、そして戦時空襲下でもお客様ファーストとして「不惜身命の心」で取引先と向き合った経営でありました。これは何ら変わる事のない朝日印刷の根底に流れる古き良き企業風土であり、朝日印刷CSR経営の原点であります。

私は、これからも多様なステークホルダーの皆様の声をしっかりと聴き、変えてはいけないものは、大切に守り、社会課題の解決や持続可能な社会実現のため、変えなければならぬものは、スピード感を持って取り組んでいく覚悟です。

朝日印刷は昨年、CSR委員会を設置いたしました。合わせて当社グループがCSR経営に取り組むにあたって、CSR活動方針を定め、5つの主要テーマに基づく活動をスタートしました。

近年、医薬品・化粧品分野をはじめ、様々な市場よりパッケージに求められるお客様のニーズは、ますます高度化・多様化しております。このような時代に、私たちはお客様からの期待に応えるだけでなく、朝日印刷グループでしか生み出せない「感動」を提供する企業でありたいと考えております。

お客様の期待を超える「感動」をお届けするのに必要なのは、私たちの挑戦です。

「包むところを大切に、日本と世界に新しい包装文化を発信する」という経営理念をもとに、朝日印刷グループで働くすべての従業員がそれぞれのポジションで新たな挑戦を行い、包装業界をリードしていくという自負を持ち、「美と健康の包装に関する事業」を環境と調和させ、未来に向けて継続することで、社会的使命を果たし、お客様と社会に貢献していく事を実践してまいります。



2021年6月

代表取締役社長 **朝日 重紀**

# 経営理念・基本方針

当社グループは、これら「経営理念」「基本方針」を経営の基本理念とし、印刷包材事業をコア事業領域として美と健康に関する分野で、包装を核とした商品とサービスを提供していきます。

## 朝日印刷グループ経営理念

【創業200年の夢】“自分の子供や孫の世代も入社させたい”

朝日印刷グループで働く世界中のだれもが、そう思える会社を創りたい

私達は、美と健康の包装に関する分野で

包むところを大切に、日本と世界へ新しい包装文化を発信する

## 朝日印刷グループ基本方針

### お客様本位

私達は、常にお客様の立場に立って考働し、笑顔と感動を提供する企業を目指します

### 選ばれる企業

私達は、世界中のお客様に安心・安全と、新たな付加価値のある商品・サービスを提供します

### 働きがい企業

私達は、Asahiファミリーとしてお互いを思いやり、笑顔が溢れる企業を目指します

### 社会貢献

私達は、暮らしと心の豊かさを大切に、社会から尊敬される企業を目指します

## 新中期経営計画を推進

2017年（平成29年）4月からは新中期経営計画「AD2021計画」をスタートさせています。

『Open』 The Future!!

包むところを大切に、日本と世界へ 新しい包装文化 を発信する

をスローガンに、次の10の長期ビジョンを実現させることで、グループ内連携によるお客様対応力を強化し、更なる信頼関係の構築とグループ全体の企業価値向上に努めていきます。

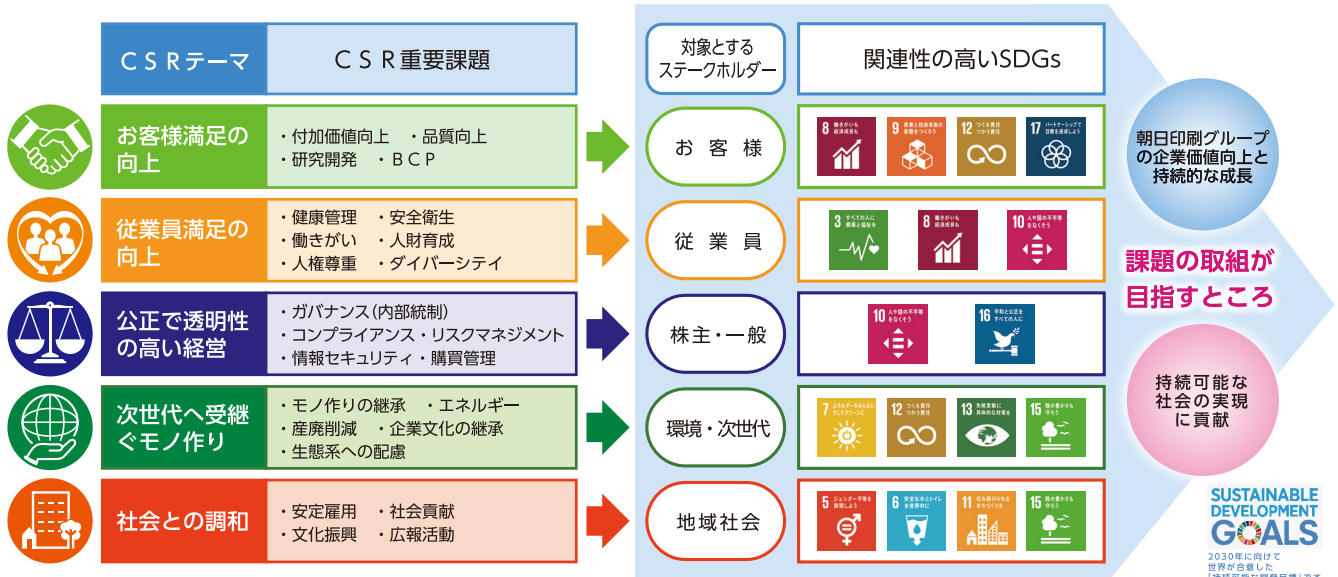


## AD2021計画 10の長期ビジョン

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1 戦略的売上拡大</b><br/>ファーストコールカンパニーとして、美と健康市場でシェアNo. 1を極める</p>    | <p><b>6 技術・開発</b><br/>他社に先駆けたオリジナルイノベーションを創出し、包装業界をリードする</p>       |
| <p><b>2 利益追求</b><br/>付加価値生産性の最大化を目指し、営業利益率10%以上を目指す</p>             | <p><b>7 働き方改革</b><br/>ワークライフバランスのとれた従業員満足度No. 1企業を目指す</p>          |
| <p><b>3 お客様満足向上</b><br/>全社一丸となった最高の商品・サービスを提供し、お客様に選ばれ続ける企業を目指す</p> | <p><b>8 財務戦略</b><br/>計画的な財務戦略に基づき、環境変化に柔軟に対応した経営を実現する</p>          |
| <p><b>4 海外進出</b><br/>Asahiワンストップサービスを実現し、海外市場における販売・製造拠点を確立する</p>   | <p><b>9 CSR</b><br/>安心・安全・環境をテーマに、地域社会に貢献できる企業を目指す</p>             |
| <p><b>5 人財育成</b><br/>多様な人材を獲得し、業界No. 1企業として幅広い知識と経験を持った人財を育成する</p>  | <p><b>10 グループ戦略</b><br/>Asahiグループ全従業員が、最高のパフォーマンスを発揮できる体制を構築する</p> |

### CSR方針

私達、朝日印刷グループは、前頁の経営理念のもと、朝日印刷グループで働く一人ひとりが共通理解をもち、協働して、未来に向けて行動していきます。また、私達は、美と健康の包装に関する事業を環境と調和させ、未来に向けて継続することで社会的使命を果たし、お客様と社会に貢献していくことを目指しています。そのために、朝日印刷のCSR活動に対する基本的な考え方を定め、その活動を5つのテーマに分けて推進していきます。



朝日印刷グループでは事業活動を通じて、SDGs推進に貢献していきます。

# 会社情報・拠点一覧

## 会社情報

会社名	朝日印刷株式会社
本社所在地	〒930-0061 富山県富山市一番町1番1号 一番町スクエアビル
TEL	076-421-1177(代)
FAX	076-491-6140
主な事業内容	印刷・包装資材の企画、製造、販売、包装システム販売事業
設立	昭和21年5月(創業明治5年)
資本金	22億2,875万円(2021年3月現在)
株式	東京証券取引所第二部
決算	年1回、3月
代表者	代表取締役社長 朝日 重紀
社員数	1,211名(2021年3月現在)
平均年齢	35.1歳(2021年3月現在)

## 拠点一覧

営業拠点 (事務所含む)	東京支店(東京都台東区) 名古屋支店(愛知県名古屋市中区) クリエイティブセンター/富山営業部(富山県富山市) メーク営業部(東京都中央区) 東北営業所(山形県山形市) 高崎営業所(群馬県高崎市) 金沢営業所(石川県金沢市) 三重営業所(三重県津市) 奈良営業所(奈良県橿原市) 神戸営業所(兵庫県神戸市) 山口営業所(山口県山口市) 熊本営業所(熊本県熊本市)	大阪支店(大阪府大阪市北区) 新宿支店(東京都新宿区) 東京クリエイティブオフィス(東京都台東区)
工場	富山工場(富山県富山市) 富山南工場(富山県富山市)	宇都宮営業所(栃木県宇都宮市) 東海営業所(静岡県富士市) 岐阜営業所(岐阜県岐阜市) 滋賀営業所(滋賀県甲賀市) 京都営業所(京都府京都市) 徳島営業所(徳島県徳島市) 福岡営業所(福岡県福岡市)
物流センター	富山SCMセンター(富山県富山市)	富山東工場(富山県富山市) 京都クリエイティブパーク(京都府木津川市)



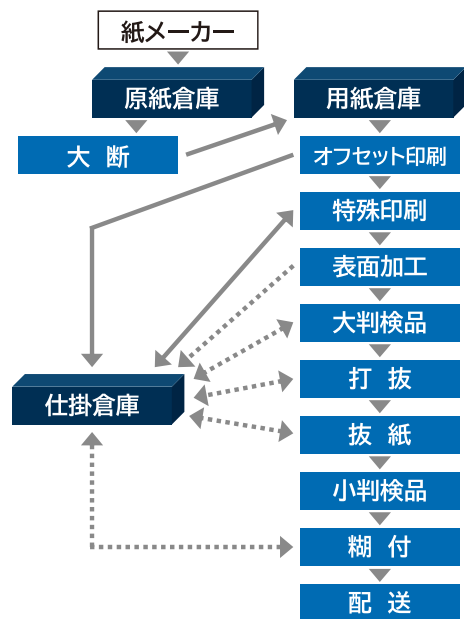
## 資材調達・製品開発

- ・印刷包材等の製造に必要な、「紙」、「インキ」、「塗料」、「糊」などの資材を、各種メーカーや商社より調達しています。
- ・様々なメーカーのご協力のもと、当社オリジナルの資材の開発を共同で実施し、当社独自の印刷資材によって製品の差別化を行っています。



## 印刷・包装資材の製造

- ・製品の品質向上と生産の効率化を実現するため、すべての工場で一貫生産体制を整えています。資材の投入から印刷・加工・打抜・糊付・梱包までの全工程を同一工場内で行うことで、統一された品質基準、環境管理下での生産が可能になるとともに、製品に対するお客様のさまざまなご要望に、柔軟かつスピーディな対応ができる体制となっています。
- ・常に高い品質と生産性を追求するため、最新鋭の生産設備やシステムを積極的に導入しています。それらの多くは、よりの確にお客様のニーズに応えるために自社開発、あるいは社外との共同開発によって最適化された「朝日オリジナル」仕様。たとえば、東工場に導入されている枚葉オフセットコンビネーション多色印刷機は、高度な意匠や多様な表現が求められる化粧品パッケージの生産を、より効率的に、安定した品質で実現するためにメーカーと共同開発した日本初の印刷機です。その他にも、デジタルデータ照合校正とそれに伴う印刷データ管理に自社開発のシステムを使うなど、各工程で独自の品質追求を進めています。



【一貫生産のチャート図】



## お客様

- ・医療用医薬品パッケージ、OTC医薬品パッケージ、化粧品パッケージなどお客様の様々なニーズにお応えするパッケージを提供しています。



# 事業の状況

## 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等

### 経営方針

当社グループは、グループ経営理念をステークホルダーの皆様やグループ従業員に分かりやすく明確に伝えたいという観点から体系化し、ブレイクダウンしております。当社グループで働く一人ひとりが共有する心構えとなる「基本方針」、経営理念を実現していくための「基本戦略」により構成されております。

当社グループは、これら「経営理念」「基本方針」を経営の基本的信念とし、印刷包材事業をコア事業領域として美と健康に関する分野で、包装を核とした商品とサービスを「基本戦略」のもとに提供してまいります。

### 経営戦略等

今後の見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市場環境は厳しい状況にあり、依然として先行きは不透明な状況が続くと見込まれております。今後も変異株による感染再拡大の景気に与える影響については、注視してまいります。

当社においては「新型コロナウイルス対策本部」において従業員に在宅勤務、隔日勤務、時差出勤を指示し、感染リスクの軽減を図っております。

また、当社の工場に感染者が確認されるなどの万一の際は、その工場が操業不可能となった場合にも富山地区の他工場や設備増設した京都クリエイティブパーク、更にはグループ会社（阪本印刷、協和カートン、ニッポー）などの複数工場で製造が可能な体制を構築しており、お客様への供給維持に努めてまいります。

このような中、当社グループは、2017年よりスタートした中期経営計画（AD2021計画）において、

#### 『Open』The Future!!

包むところを大切に、日本と世界へ新しい包装文化を発信するをスローガンに、激化する企業間競争に勝ち残るために、コアの印刷包材事業に生産性向上を目的とした経営資源を投入することでモノ作り改革を進め、ぶっちぎりの商品力・技術力・開発力でお客様に最高の価値をお届けする感動提供企業を目指しております。また、社会環境面の要請に対し、次世代へ受継ぐモノ作り企業としての環境対応の強化、また従業員のワークライフバランスの向上と、安心・安全と笑顔溢れる企業を目指した働き方改革にもチャレンジしてまいります。

具体的な戦略推進にあたっては10の長期ビジョンを設定し、2021年度までの期間を2つに分け、2017年から2019年までの前半期間においては、モノ作り体制のチェンジとして省人化・省力化を念頭とした生産基盤の構築に努めてまいりました。そして2019年からはチェンジしたモノ作り体制を成長ドライバーに、目標達成に向けたグループ全体での取組を加速させる期間と位置づけ、戦略を実行しております。

営業体制としては、「東日本営業本部」と「西日本営業本部」に分割していた営業本部を統合し「営業本部」といたします。今後は、迅速な意思決定と連携に努めてまいります。

また、ラベル事業強化のため、生産本部長直轄のラベル事業改革室を新設しております。

しかしながら、現況下では、新型コロナウイルス感染症は、変異株の猛威もあり、我が国でも2021年4月に3度目の緊急事態宣言が発令されるなど、市場動向は不透明な状況にあります。当社グループでも引き続きお客様への訪問自粛などの営業活動の制限、在宅勤務等により、足元の営業活動に支障が出ており、次期の連結業績にマイナスの影響が少なからず想定されます。また、当該影響は新型コロナウイルス感染症の終息状況が不透明な状況から、現段階において合理的に算定することが困難な状況です。

したがって、中期経営計画（AD2021計画）の最終年度となる2022年3月期業績見通しにつきましては、現時点の予測として新型コロナウイルス感染症の影響が、ワクチン接種の進むと見込まれ

る年内まで継続すると想定し、前期に続き、業績見通しに幅を持たせた開示とすることにいたしました。今後の感染拡大や終息時期などの状況変化により、連結業績が変動する可能性があります。また、利益面では、ワークエンゲージメント向上のための人事制度改革に伴う労務費増加や京都クリエイティブパーク西棟の償却費などの費用の増加が想定されております。なお、業績予測数値を修正する必要が生じた場合には、速やかに修正内容を開示いたします。

### 経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

目標とする経営指標としては、新型コロナウイルス感染症により市場を取り巻く環境が厳しい中で、中期経営計画目標を修正しますが、引き続き、売上高及び営業利益率を重視し、目標達成を目指してまいります。

また、売上高に左右されずに適正な利益を生み出せる強靱な経営体質の構築を目指しており、その指標として自己資本利益率（ROE）を重視しております。

今後も中長期的に継続して、より高い自己資本利益率の達成を目指した事業運営に注力し、また、連結配当性向30%以上を維持することで持続的に企業価値・株主価値の向上を図ってまいります。

### 経営環境

当社の事業の中核である印刷包材事業の売上において、医薬品、化粧品市場向け印刷包材の売上高が高い割合を占めております。そのため、当社グループの経営成績は、医薬品業界、化粧品業界における企業再編やM&Aなどの変動をはじめ、これらの業界業績により、また、薬機法の改正など医療制度改革により、影響を受ける可能性があります。

### 事業上及び財務上の対処すべき課題

当社グループは近年激化する企業間競争に勝ち残るために、主要事業領域である印刷包材事業に、生産性向上を目的とした経営資源を投入することでモノ作り改革を進め、ぶっちぎりの商品力・技術力・開発力でお客様に最高の価値をお届けできる感動提供企業を目指しております。

また、売上高に左右されずに適正な利益を生み出せる強靱な経営体質の構築を目指しており、その指標として自己資本利益率（ROE）の向上を財務上の課題として認識しております。

### 事業等のリスク

当社グループの事業その他に関するリスクについて、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる事項を記載しております。当社は、これらのリスク発生の可能性を認識したうえで、発生の回避や発生した場合の対応に努める所存であります。

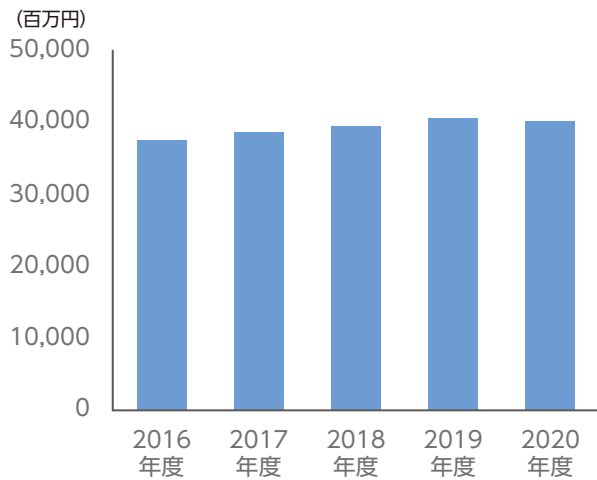
- ①経済状況の変化
- ②取引先が特定の業種に偏重していること
- ③特有の法的規制及び製品の不具合が生じた場合の責任
- ④新製品及び新技術に係る商品化
- ⑤知的財産権の侵害
- ⑥原油価格や為替レート等の変動
- ⑦原材料の供給状況による影響
- ⑧環境に関する法的規制
- ⑨設備投資
- ⑩情報セキュリティ
- ⑪電力の供給状況による影響
- ⑫地震等の災害
- ⑬海外事業展開
- ⑭のれんの減損
- ⑮感染症対策

詳細につきましては、弊社の有価証券報告書（第105期）をご確認ください。

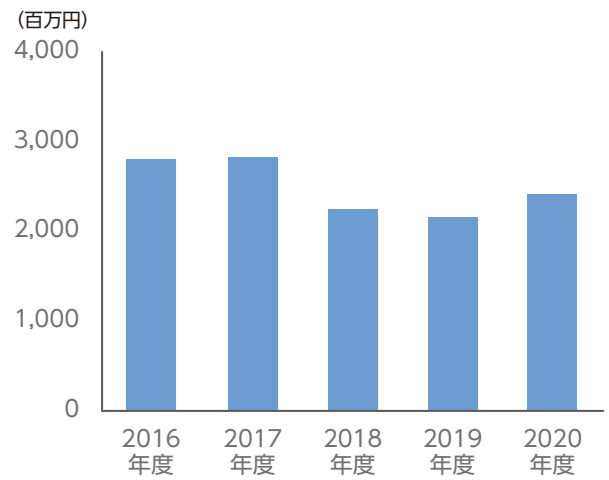


# 財務ハイライト (連結)

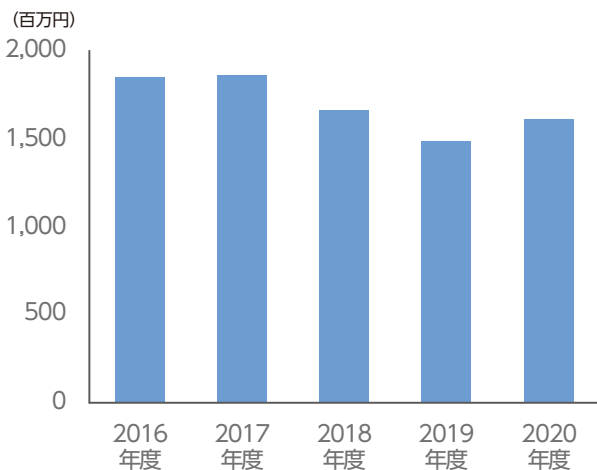
## 売上高



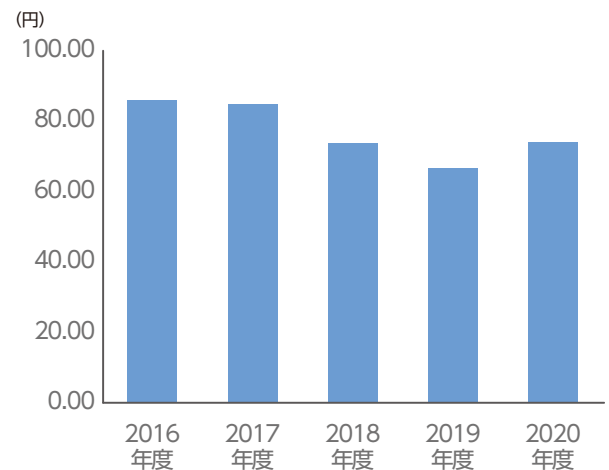
## 経常利益



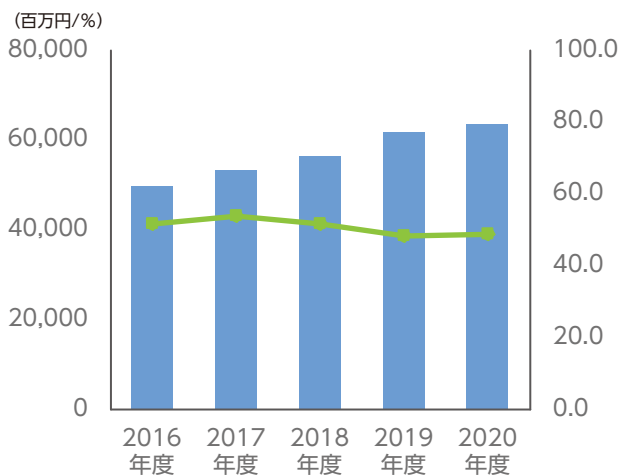
## 親会社株主に帰属する当期純利益



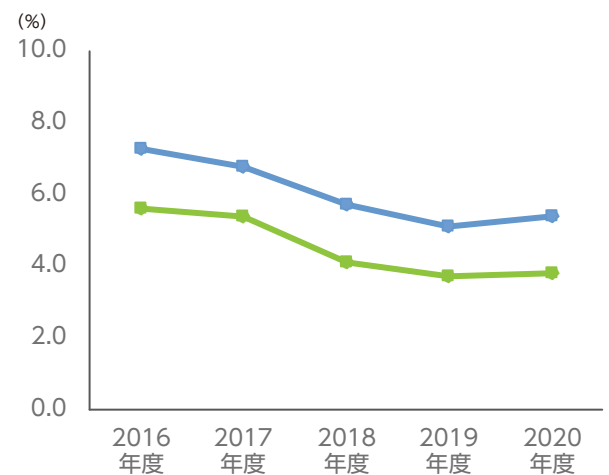
## 1株当たり当期純利益 ※1



## 総資産／自己資本比率 ※2



## 自己資本利益率(ROE)／総資産経常利益率(ROA) ※3



※1 2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、株式分割を考慮した金額を記載しています。

※2 ※3 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2018年度から適用しており、2017年度以前については当該会計基準等を遡って適用した後の金額・比率を記載しています。

# 特集記事 京都クリエイティブパーク西棟竣工

## 「包材」の提供から「感動」の提供へ

朝日印刷グループは、医薬品・化粧品分野を中心とする印刷包材事業をコアの事業領域として、「美と健康」に関する分野で、包装を核とした商品と様々なサービスを提供する事業を展開しております。

京都クリエイティブパークは、様々な印刷・加工技術を有しており、お客様のニーズに応じたパッケージをご提供することが出来ます。また、富山地区と京都地区で連携した供給体制を構築することで、お客様に安心してご発注いただける環境を整えました。

京都クリエイティブパークは、最新の生産管理システムと先端機能を持つ生産ラインによる新しいモノ作りを研究開発し、将来の朝日印刷の新しい付加価値提供へ繋げる開発研究拠点としての機能を担います。

今後とも「絶えざる創造とモノ作りへの挑戦」をモットーとして

「美と健康」にかかわる分野で事業を通じ、社会貢献に努めてまいります。

### 京都クリエイティブパークのコンセプト



#### Creative mind

新たなモノづくりの創生開発

- ◆顧客市場動向を先取りした包装資材生産システムの創造
- ◆機械メーカーとの共同開発を行い、新しい付加価値を提供



#### Innovation park

革新的な工園

- ◆画期的な省人化ラインと新生産方式の導入
- ◆人工知能(AI)を活用したスキルレス化への取組



#### Harmony with the environment

環境との調和

- ◆ISO14001を取得し、環境マネジメントシステムを構築
- ◆CO2削減、リサイクル活動の推進

### 工場概要

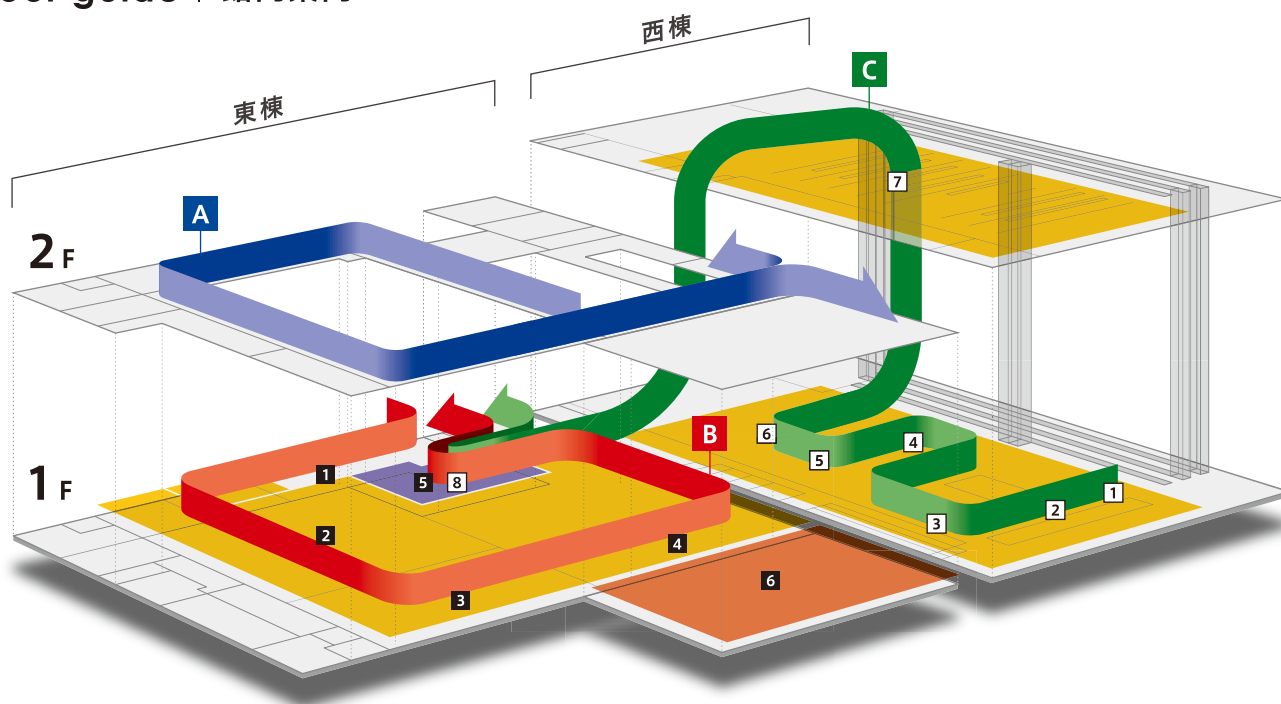
敷地面積:47,300㎡ 建物面積:13,424㎡ 厚生棟:865㎡ 生産棟:東棟 5,831㎡、西棟 6,691㎡

2015年  
8月竣工

東棟

朝日印刷

## Floor guide | 館内案内



### A スタジアム感覚で見学可能なラウンド式見学者通路

### B 東棟の製品の流れ

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 原紙・大断工程 | 3 打抜・抜紙工程 | 5 検査・出荷工程 |
| 2 印刷工程    | 4 糊付工程    | 6 厚生棟     |

### C 西棟の製品の流れ

- |        |          |        |           |
|--------|----------|--------|-----------|
| 1 大断工程 | 3 表面加工工程 | 5 打抜工程 | 7 糊付工程    |
| 2 印刷工程 | 4 箔押工程   | 6 抜紙工程 | 8 検査・出荷工程 |



#### 医療用医薬品パッケージ

医療機関での利用が基本となる医療用医薬品パッケージです。品質・数量の管理等が厳格に求められるほか、わかりやすい表記やデザインも必要とされる製品です。



#### OTC医薬品パッケージ

ドラッグストアなどで扱われるOTC医薬品のパッケージです。デザイン・印刷表現と、品質・数量管理等が、どちらも高い水準で求められる製品です。

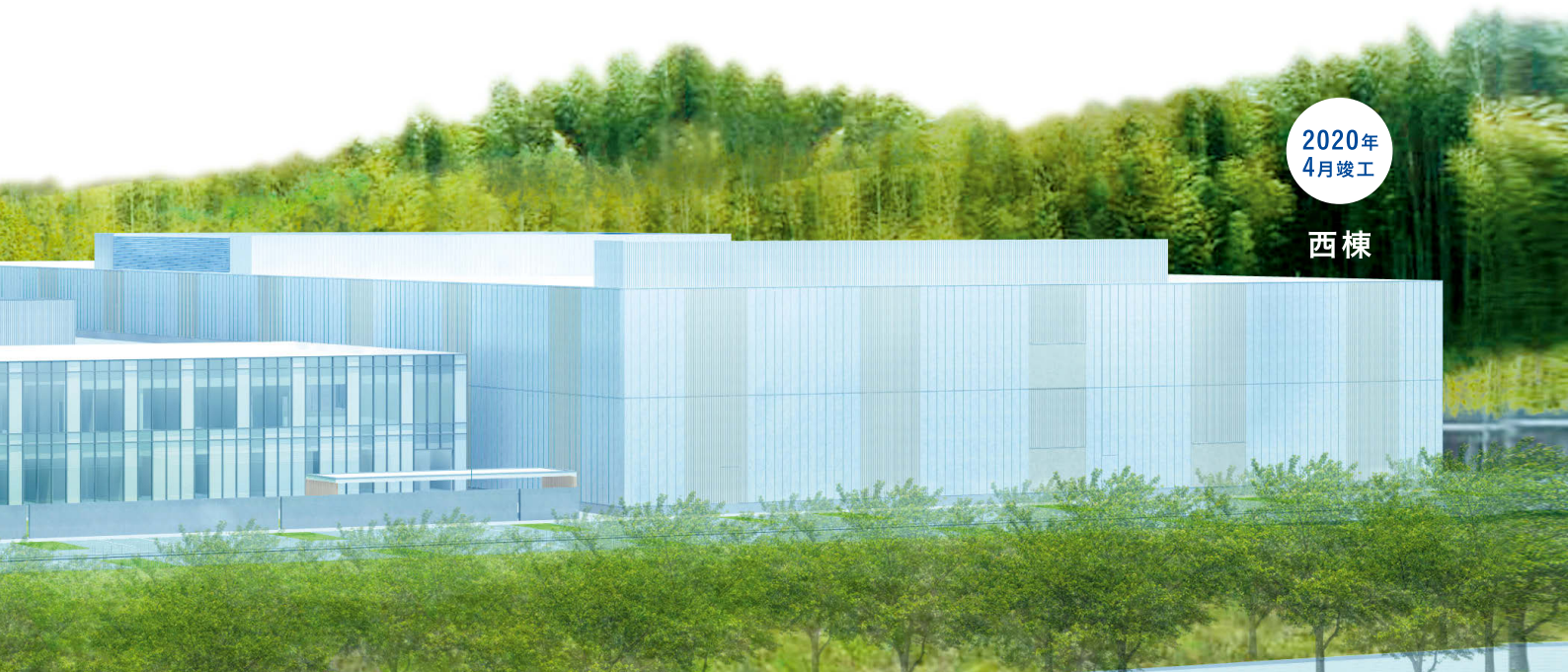


#### 化粧品パッケージ

化粧品を中心とした高付加価値・高意匠パッケージです。高度なデザイン表現と多彩な印刷加工技術、幅広い素材への対応が求められる製品です。

2020年  
4月竣工

西棟





# CSRテーマ お客様満足の上

私達は、美と健康に関わる包装資材の製造を中核事業として責任ある供給体制を構築し、お客様のニーズを上回る製品・サービスの提供を行うことでお客様の感動を獲得します。

課題		2020年度目標	2020年度実績	評価
品質向上によるクレーム低減	①当工場における不良発生件数の削減	20.6%削減(昨比)	2.5%削減(昨比)	×
	②改善提案・小集団活動実施	各職場の目標件数	一部未達	△
得意先の付加価値向上に向けた開発品の採用	①開発品採用点数、上市点数	採用5件、上市5件	採用4件、上市8件	○
	②特許・実用新案登録申請件数	登録申請15件	登録申請11件	△
BCP対応の推進	①リスク委員会を通じた整備・見直し	リスクの抽出 改善計画策定	課題抽出実施 一部対応実施	×
	②京都西棟によるBCP対応強化	京都西棟稼働(4月)		○
お客様への環境提案	①提案件数	20件	25件	○
	②環境対応品採用件数	3件	20件	○

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。(○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満)

## 品質向上への取り組み

### 品質基本方針

お客様の立場に立って心を込めたものづくりを行い、安心して使っていただける製品をお届けする。

当社は、お客様との取決め事項を順守し、常にお客様の立場に立って「心をこめた」ものづくりとサービス提供を行うことを目指して、これからも品質マネジメントシステムの見直しを続けていきます。お客様目線に立って、そのような仕組み作りを自ら点検しながら、安心して使っていただける製品を永続的にお届けするとともに、新たな付加価値をご提案し続けることにより、お客様より「選ばれ続ける企業」を目指します。

## ISO9001：2015認証取得

当社は、1999年3月にISO9001認証を取得し、古くから品質マネジメントシステムを構築しています。これからも品質向上を進めていくためにISO9001認証を維持していくために、品質マネジメントシステムの見直しを継続的に進めていきます。

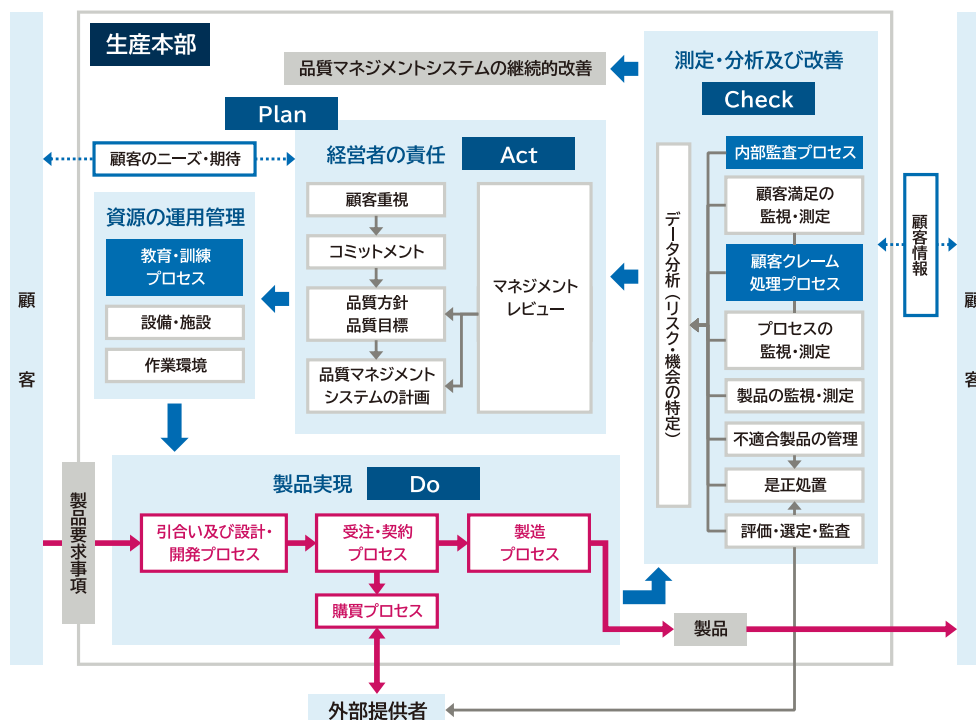


JQA-3168

【認証範囲】 生産本部

医薬品・化粧品などの包装材料及び添付文書の設計・開発及び製造  
医薬品・化粧品容器などへのラベルの設計・開発及び製造

当社の品質マネジメントシステム図



## 環境対応製品・技術紹介

### 簡易廃棄パッケージ

底面などしっかりと糊付されたパッケージは簡単につぶすことができず、廃棄に時間が掛かったりゴミがかさばる原因になります。このパッケージは、底面に廃棄用のジッパーを設けることで廃棄をしやすくゴミの減容化を図ることができます。



また、特に調剤現場での薬剤師さんの仕事は大変忙しく、薬を取り出した後のパッケージを廃棄するという一連の作業にもスピードが求められます。写真は注射用の薬剤が入ったバイアルビン10本入りのパッケージです。中にビンを保護するための仕切りがあり、つぶして捨てるのが困難でしたが、底面の廃棄ジッパーを破ることで簡単になります。

### バイオプラスチックパッケージ

植物由来の原料を使用しながら、石油由来の原料と同等の物性を持ったプラスチックを使用したパッケージです。最近では飲料や食品、化粧品の分野での採用が増えてきており、石油資源の使用抑制だけでなく、企業の環境配慮の姿勢をアピールすることも積極的に行われています。



### 改ざん防止パッケージ

店頭で販売される商品のパッケージは不正な開封を防止するため、フィルムでパッケージ全体を巻いたり、蓋をテープなどで留めたりしています。この改ざん防止パッケージは、一度蓋を開けるとジッパーなどで開封しない限り開けることができない構造になっています。フィルムやテープといった資材が必要ないため、コストダウンを図ることができます。



## 事業継続計画 (BCP : Business Continuity Plan)

当社の生産体制は市場別・製品群別に分けた工場体制を構築しており、グループ各社と合わせて同仕様製品を複数の生産拠点で製造できるように機械設備を設置しています。

また、これまで富山市に集中していた当社の工場立地状態を鑑みて、2015年8月に京都府木津川市に新たな製造拠点として京都クリエイティブパークを新設しました。これによって、富山地区と連携した供給体制の構築が可能となります。

災害時における従業員の状況を迅速に把握できるよう、安否確認システムを導入しております。これによって、従業員の状況に応じた適切な初動対応が可能となります。



## 外部CSR評価サービスへの参加

弊社では、CDP、Sedexなども含めて、3つの国際的なCSR評価サービスに参加し、お客様とのサプライチェーンの中で、自社のCSR活動を向上させています。



## 小集団活動

社内では、少人数のチームに分かれて小集団活動を実施しています。業務改善・品質改善・3Sなどさまざまなテーマで活動しており、年に2回各部門から代表チームを選抜して、小集団成果発表会を実施しています。優秀な活動内容については表彰しており、各チームともに工夫を凝らし、熱のこもった発表をしています。



## Topic…お客様の製品の品質を保証する「大判検査システム」



品質保証部 検査課  
課長 坂上 絢子

品質保証部 検査課では、各工場に検査員を配置しお客様目線での検査及び品質判断を行います。表示保証システムである大判検査装置を用いた検査では、お客様より頂いた校了データと印刷大判物を一字一句照合し、指示通りの印刷がなされているか、誤読の恐れは無いかという表示の保証を行っています。

医薬品及び化粧品などの商品の顔であり、その一部でもあるパッケージ包材や添付文書を作っているという使命感を持ち、パッケージをはじめ添付文書、ラベルにおいて確かな検査を行い、表示不良の流出防止に努めています。

近年、私達が取り組んだ大きなチャレンジとしては、検査員権限を取得した検査員が個人IDで検査を実施できる電子化検査システムを構築したことが挙げられます。検査記録を電子媒体により保存することが可能になり、お客様へ納めた製品が社内基準に適合した証拠を長期間残すことにより、製品品質を保証しています。

今後の展望としては、お客様のニーズに合わせた様々な製品特有の検査において、マスタ登録による間違いのない確かな検査を行うことにより、お客様へ納める製品に新たな付加価値を見出していきます。また、ICT技術を用いることにより、今後の更なる確かなものづくりに活かしたいと考えています。



ICT技術を活用した検査作業



電子化した検査システム



# CSRテーマ 従業員満足の向上

私達は、従業員が安心して働くことができる、安全・健康に配慮した職場環境を整備し、従業員の意欲向上につながる制度や人材開発のための教育体系を整備することで、従業員満足の上を推進します。

課題		2020年度目標	2020年度実績	評価
ワークライフバランスの取れた働き方	①多様な働き方をサポートする制度設計	制度の設計・活用	男性の育児休業取得	○
	②従業員の健康維持：従業員全員の健康診断受診	受診率100%	受診率100%	○
	③有休取得率の向上	2025年で75%取得	61.5%	△
	④平均残業時間の改善	20時間/年	15時間/年	○
ダイバーシティによる会社の活性化	①女性の職業生活における活躍の推進（係長級以上への登用）	30%以上	5.6%	×
	②障がい者の法定雇用率の維持	法定雇用率の維持	法定雇用率の持続	○
	③外国人の採用（外国人研修生を除く）	1名（計画）	1名	○
	④高齢者雇用の促進（雇用継続制度の継続）	再雇用率90%	100%	○
ハラスメントの撲滅（セクハラ、パワハラ等）	①新任管理職への教育の実践（集合研修（リモート含む））	実施率100%	実施率100%	○
	②全従業員向け啓蒙活動の実施	実施率100%	実施率100%	○
	③相談窓口対応	案件解決率100%	案件解決率100%	○
業務災害ゼロの実現	①休業労働災害0件の達成	0件	2件	×
	②リスクアセスメントの推進（生産設備・化学物質）	計画達成率100%	達成率94%	○

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。（○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満）

## 健康管理への取り組み

### 健康経営

当社は、従業員が心身ともに健康でいられるように、2018年より健康経営をスタートしました。その取り組みが評価され、日本政策投資銀行（DBJ）による健康経営格付けを2018年3月に取得しました。

より積極的に取り組むため、同年6月に全国健康保険組合が健康づくり優良企業に認定する「健康企業宣言」で、2019年6月にStep 1（銀）の認定を受け、更に取り組みを進め2020年3月にStep 2（金）の認定と評価を受けました。



### 経営トップによる健康宣言

#### 「健康経営宣言」

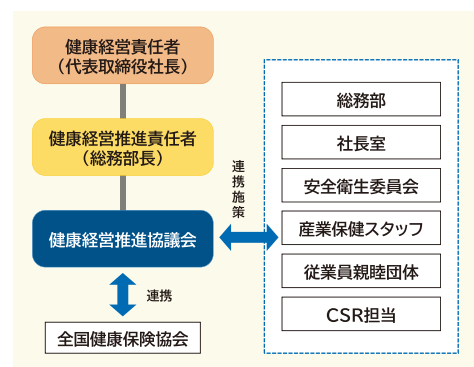
朝日印刷グループは、美と健康に関する事業を展開する企業として、従業員の健康を重要な経営資源、企業活力の源泉として捉え、「健康経営」の実現に向けた取り組みを推進します。朝日印刷の経営理念実践と企業価値の向上を追求し続けるためには、会社の財産である従業員一人ひとりが、心身ともに健康で、仕事も家庭も充実した健やかな毎日を送ることができる環境づくりが大切です。働きがいのある笑顔溢れる企業を実現するため、「健康経営」の取り組みを経営方針として位置づけ、会社、従業員親睦団体、従業員とその家族が一体となって、健康の保持・増進、ワークライフバランス充実、職場環境の改善に取り組んでいくことを宣言いたします。

令和2年3月

### 健康経営の推進体制

「健康経営推進協議会」を設置し、代表取締役社長を健康経営責任者とする推進体制を整備しました。

協議会においては、従業員の健康課題の共有や取組み計画の策定などを行い、関連部門や安全衛生委員会、産業保健スタッフ、従業員親睦団体とも連携しながら取組みを実行していきます。



### 健康経営の重点方針

健康経営を推進するにあたっての特に重要視する方針として3つのことを定めています。

1. 従業員自身が自立的に健康の保持・増進に取り組むことを積極的に支援します。
2. 従業員とその家族が笑顔で過ごせるように、会社、従業員親睦団体、従業員とその家族が一体となって、ワークライフバランスの充実と心身の健康づくりを推進します。
3. 働きがいのある企業の実現により、従業員の活力と企業価値の向上を追求します。

## 健康経営の数値目標

健康経営推進におけるKPIとして「心身の健康の保持・増進」及び「働き方改革」に係る以下の10項目を設定し、進捗の確認及び目標達成に向けた取り組みを進めていきます。

	現状	目標値		
		2019年度	2023年度	2025年度
(1)健康診断受診率		100%	100%	100%
(2)肥満※1	男性	22.3%	21.0%	20.0%
	女性	10.6%	10.0%	9.5%
(3)脂質リスク※2		24.8%	23.0%	22.0%
(4)血圧リスク※3		24.8%	23.0%	22.0%
(5)血糖リスク※4		9.9%	8.5%	7.5%
(6)特定保健指導の該当者率		18.7%	17.0%	16.0%
(7)喫煙率		25.6%	22.0%	19.0%
(8)1か月以上の休業者発生率		0.10%	0.10%未満	0.10%未満
(9)時間外労働(平均残業 時間/月)		19時間	17時間以内	15時間以内
(10)有給休暇取得率		69.1%	70.0%	75.0%

※1 BMI $\geq$ 25kg/m<sup>2</sup>の割合  
 ※2 中性脂肪300mg/dl以上またはLDL-C140mg/dl以上またはHDL-C40mg/dl未満  
 ※3 収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上  
 ※4 空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c6.0%以上

## 安全衛生への取り組み

私達は「人命尊重」を基本理念として、朝日印刷で働く全ての人の安全と健康を確保することを企業活動の基盤とし、全ての人が参加するかたちで、安全・衛生活動を推進し、「安心して働くことができる職場」を実現してまいります。

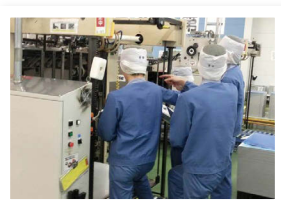
### 安全衛生委員会による職場の安全衛生の維持改善

当社は、全社を管轄する中央安全衛生委員会の下部に各事業所での安全衛生委員会を設置し、全社で安全・衛生方針の浸透と、各職場に応じた安全・衛生活動を推進しています。

### 職場のリスクアセスメント活動の推進

労働災害を発生させない「安心して働くことができる職場」を実現させるための取組みとして、機械設備及び化学物質のリスクアセスメントを実施しています。

職場内の危険性や有害性のリスク低減措置を講じていくことで、職場内に潜む危険の芽を摘み取り、本質的な安全対策を推進しています。



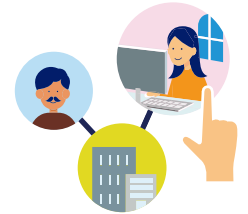
## 働きがいへの取り組み

### 人事考課のフィードバック面接

当社では、従業員一人ひとりと人事考課成績のフィードバック面接を実施しています。これによって、会社業績への貢献度や今後の成長について上司と話し合うことで、会社と従業員がお互いに成長している姿を目指しています。

### 多様な働き方

従業員の親睦団体により、ボーリング大会、ソフトボール大会、ハイキング、クリスマスパーティーなどのイベントが開催され、多くの従業員が参加しています。



## 人材育成への取り組み

### 教育・訓練(人材育成)に関する基本的な考え方

私達は、階層別・職種別に教育・訓練を定期的実施し、各人の役割を担えるようにレベルアップに取り組み、会社の業績貢献ならびに全ての利害関係者の信頼に繋げています。

### 朝日教育委員会

当社は、朝日教育委員会を設置し、新しい研修の企画や既存の研修内容のブラッシュアップをすることで、未来に活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

### 教育体系

当社は、明日の当社を担う人材を育てるため、さまざまな研修プログラムを実施しています。



	集合教育			通信教育	資格取得	外部研修
	専門教育	マネジメントスキル	ヒューマンスキル			
管理職	○	○	—	○	—	○
監督職	○	○	—	○	—	○
上級	○	—	○	○	○	○
中級	○	—	○	○	○	○
初級	○	—	○	○	—	○

## Topic…「健康経営優良法人2021 大規模法人部門」の認定

朝日印刷株式会社は、2021年3月4日付で、経済産業省が創設した健康経営の顕彰制度「健康経営優良法人2021大規模法人部門」の認定を受けました。

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

当社では、美と健康に関する事業を展開する企業として、従業員の健康を重要な経営資源、企業活力の源泉として捉え、従業員及びその家族の健康保持・増進に繋げる諸施策に取り組んでおります。

当社は、今後も引き続き、会社、従業員親睦団体、従業員とその家族が一体となって、働きがいのある笑顔溢れる企業の実現を目指してまいります。





# CSRテーマ 公正で透明性の高い経営

私達は、上場企業として企業倫理の徹底をはじめ、内部統制を整備し、公平で透明性の高い経営を推進します。

課題		2020年度目標	2020年度実績	評価
ガバナンス	①法定業務の遅延なき開示の実施及び違反ゼロ	違反0件	違反0件	○
	②取締役会でのガバナンス講習会の実施	年1回以上の実施	1回	○
リスクマネジメント	リスクの抽出・改善計画を作成し実施	計画達成率100%	計画達成率25%	×
コンプライアンス	①新入社員への教育実施	計画達成率100%	計画達成率100%	○
	②全従業員への教育実施	計画達成率100%	計画達成率99%	○
サプライヤーとの関係構築	①調達基本方針を設定し、社内外に周知する	取引先調査実施率50%	取引先調査実施率32%	△
	②お取引先様へのアンケートによる課題の抽出	主要取引先へのアンケート実施	回答率100%	○
	③法令違反なし（内部監査室による調査）	違反0件	違反0件	○

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。（○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満）

## コーポレートガバナンス

### 基本的な考え方

当社のコーポレート・ガバナンスの目的は、経営の効率性及び透明性を高めることで、ステークホルダーから見た企業価値を持続的に高めることであると考えています。

株主からの負託に応えることが企業経営の使命ではありますが、同時に企業は従業員、お取引先、地域社会等株主以外のステークホルダーに対してもそれぞれの責任を果たし、社会から信頼されなければなりません。このようなことを踏まえ企業活動を行うには、コーポレート・ガバナンスの充実、経営上の重要課題であると考えます。

経営上の組織体制や仕組みを整備し、的確な経営の意思決定、それに基づく迅速な業務執行及びコンプライアンスを確保した適正な監督・監視が可能な経営体制の構築が必要であると考えています。

また、経営の透明性の見地から、迅速で適切な情報開示も必要とと考えています。

### 基本方針

- 株主の権利・平等性の確保に努めます。
- 株主以外のステークホルダー（お客様、お取引先、債権者、地域社会、従業員等）との適切な協働に努めます。
- 適切な情報開示と透明性の確保に努めます。
- 透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うため、取締役会の役割・責務の適切な遂行に努めます。
- 株主との建設的な対話に努めます。

## 朝日印刷グループ調達基本方針

私達は、「すべてのお客様は大切なパートナーである」との考えに基づき、お取引先に対し、誠実な対応を行うことを心掛け、以下の方針に沿ってCSR購買活動を行います。

健全な事業活動や社会的責任を果たすために、重要なパートナーであるお取引先様にも弊社の調達に関する基本的な考え方をご理解いただき、ご協力いただくことが不可欠と考えています。

お取引先様と共同でCSRを推進すべく、方針に則った活動をお願いしています。

## 朝日印刷グループ調達基本方針

- お取引先との継続的なパートナーシップの構築**  
私達は、お取引先とは長期的な信頼関係を構築し、良きパートナーとしてともに繁栄、存続していく共存共栄の関係を目指します。
- 公正かつ公平な取引**  
私達は、お取引先の選定にあたり下記項目を総合的に評価し、国内外を問わず、新規希望者に対しても公平な機会を提供し、お取引先とは対等な関係で真摯に対応します。  
・共に発展していける信頼性                      ・お取引先の技術力  
・情報提供力    ・購買品目の品質、価格、納期など
- 安定調達とリスク管理**  
私達は、購買品の安定調達のために、適切な基準に基づいた発注を行い天災・事故などの不測の事態にも備えた購買バランスを目指します。
- 法令や社会規範の順守**  
私達は、購買品の調達に関連する法令・社会規範を順守し、知的財産権を侵害しません。また、反社会的な組織との取引は行いません。
- 環境保全**  
私達は、環境保全に取り組むため、お取引にあたり、地球に優しい「グリーン調達」に努めます。
- 情報管理**  
私達は、お取引において知り得た情報は、下記の通り機密事項として取扱います。  
・お取引先、自社、第三者の個人情報を秘密として保護します。  
・お取引先、自社の機密事項を適切に管理し、漏洩防止に努めます。
- お取引先とのCSR活動**  
私達は、調達活動において企業の社会的責任（CSR活動）を意識し、コンプライアンス・人権尊重・労働基準・グリーン調達などをお取引選定の基準のひとつとし、お取引先とともに協力して持続可能な社会の発展に貢献します。



## サプライヤーアンケートの実施

当社は、お取引先の皆様に朝日印刷グループの調達方針をお知らせすると共に、今後もお取引先と当社が相互信頼関係を構築し、共にCSR活動に取り組んでいけるようCSRアンケートを実施し、課題の抽出・解決を行ってまいります。

昨年度は初回として、約50社の皆様のご協力のもとアンケートを実施いたしました。今後はアンケート結果から課題抽出を行い、サプライチェーン全体でCSR活動の必要性を周知し、お取引先様とのコミュニケーション向上に取り組んでまいります。

## 「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言

当社は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動に賛同し、自主行動宣言を提出しました。



### 1. 「ホワイト物流」推進運動とは…

深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的に、次の点に取り組む運動です。

1. トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化
2. 女性や60代以上の運転者も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現

### 2. 朝日印刷の自主行動宣言について

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

#### (取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

#### (法令順守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

#### (契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

・当社では、2015年より製品輸送の標準化・輸送品質の向上を目指した、物流改革を進めて参りました。この取り組みは、今回のホワイト物流推進が目指している事項と合致しております。当社における物流改革への取り組みを更に進めて参ります。

「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト…<https://white-logistics-movement.jp>



## 朝日印刷グループ情報セキュリティ基本方針

私達は、当社の事業活動の中で取り扱う全ての情報について、ステークホルダーと弊社の情報資産を守り、社会から信頼される企業であり続けることを目指して、以下の方針に沿って事業活動を行います。

### 1. 法律及び社会倫理の遵守

私達は、情報セキュリティに関する法及び社会倫理を遵守して参ります。(個人情報に関しては、その重要性を鑑み、別途、個人情報保護方針を定め、その保護に努めます)

### 2. 管理体制

私達は、情報資産を適切に保護・管理するために必要な管理体制を構築します。

### 3. 継続的改善

私達は、情報資産の取り扱いを継続的に改善するよう努めます。

### 4. 教育・訓練活動

私達は、情報セキュリティの重要性を認識し、本方針に関する教育・訓練を継続的に参ります。

### 5. 事故への対応

私達は、情報セキュリティ事件・事故が発生した際は、迅速に処理し、被害の拡大を防止します。また、早急な原因究明と再発防止策を含む適切な対策を速やかに実施します。

## リスクマネジメントについて

私達は、事業を継続して社会に貢献していくために、グループ全体のリスクを把握・分析し、課題解決に向けた取り組みを行っています。

### リスク管理委員会の設置

企業活動の持続的発展を阻害する業務執行に係るリスクをトータルに認識・評価し、適切なリスク対応を行うため、各部門責任者、グループ企業社長などを委員とする、「リスク管理委員会」を設置しています。

「リスク管理委員会」ではリスク対応状況を把握・検討し、必要に応じた対策を指示しています。





# CSRテーマ 次世代へ受継ぐモノ作り

私達は、美しい地球を守ることの重要性を認識し、環境保全を意識したモノ作りを継続的に取り組めます。

課題		2020年度目標	2020年度実績	評価
環境負荷低減	エネルギー使用量の年1%以上の削減	昨比1.0%以上削減	2.2%増加	×
	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	昨比1.5%削減	5.4%減少	○
	リサイクル率の維持	95.0%以上の維持	96.4%	○
	生産現場での環境負荷低減活動の推進	計画実施率100%	計画実施率50%	△
環境法規制の順守	環境法令に関連する行政指導件数	0件	0件	○
森林認証紙の使用比率の向上	原紙購入量における森林認証紙の比率向上	6.7%	7.9%	○
CSR教育の実施	CSR教育の実施（新入社員）、CSR教育の機会の創出	計画の推進	教育実施 次年度対象者増員	○
朝日グループ企業の社会的価値向上	グループ会社でのCSR活動の推進サポート	(株)ニッポー 森林認証取得 CSRワンスター取得準備 協和カートン(株) EA21取得準備	(株)ニッポー 森林認証取得 CSRワンスター取得準備 協和カートン(株) EA21取得申請	○

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。(○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満)

## 環境基本方針

私達は、美しい地球を守ることの重要性を深く認識し、「地球環境の保全」、「生物多様性」、「気候変動の緩和」、「持続可能な資源の利用」に配慮した企業活動を推進し、社会的責任を果たしていきます。

## 朝日サーキュラー

### 朝日印刷が考えるサーキュラーエコノミー（循環型経済）

朝日印刷は、包装というサーキュラーエコノミーの一部を担っています。CO<sub>2</sub>削減、リサイクルの推進、認証紙の使用や化石由来の原料の非使用など、新しいエコロジー包装の開発に努めています。

## ISO14001：2015認証取得

2002年よりISO14001の認証を取得し、環境マネジメントシステム（EMS）を構築することで、生産活動の一環として環境保全の取り組みを推進しています。

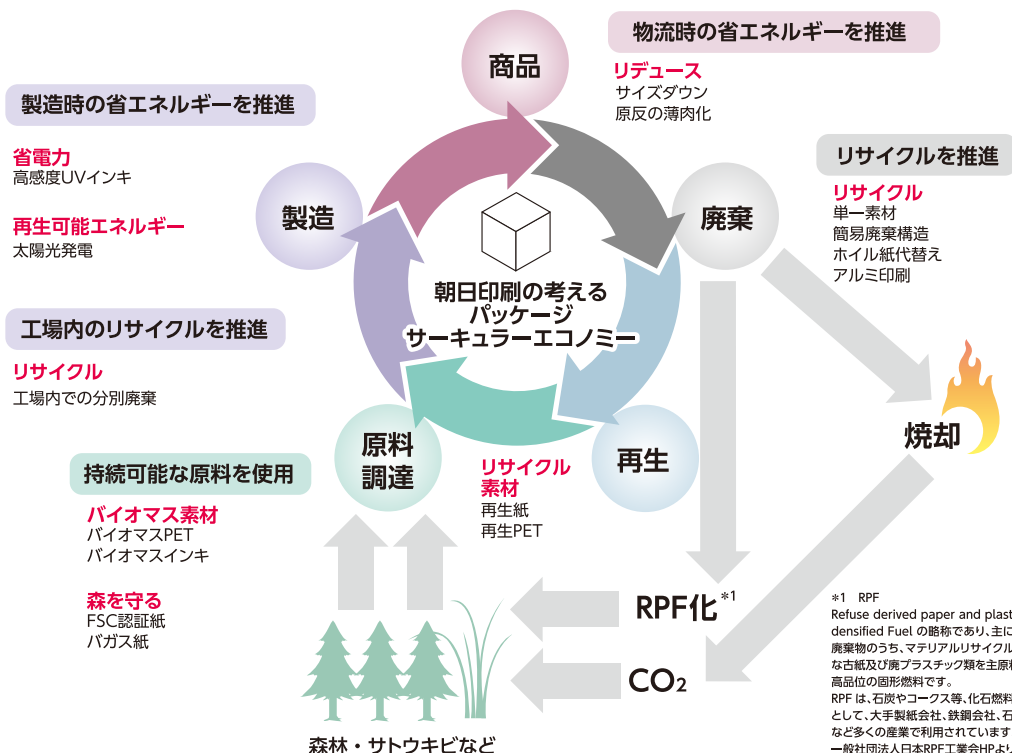
合わせて、環境委員会を組織して、環境に係る活動や情報を全生産拠点に展開することで、環境保全活動に努めています。



JQA-EM2115

【認証範囲】生産本部

医薬品・化粧品などの包装材料及び添付文書的设计・開発及び製造  
医薬品・化粧品容器などへのラベル的设计・開発及び製造



## 森林認証制度について

### 森林認証制度について

森林は紙の原料として、私達の生活を豊かにするために必要不可欠である一方、生物多様性の点からも適切な森林管理が求められています。適切な森林管理とその森林に由来する製品を認証する「森林認証」という制度があります。世界にはさまざまな認証制度がありますが、日本においては、内容の異なる次のような制度が普及しています。

FSC® (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会)  
PEFC (Programme for the Endorsement of Forest  
Certification Schemes、森林認証制度相互承認プログラム)

### 持続可能な森林管理

森林減少の原因はさまざまです。プランテーションといった農地等への土地利用の転換、自然回復性に配慮しない非伝統的な焼畑農業、燃料用木材の過剰な採取、森林火災のほか、違法伐採等によって持続可能な森林経営がなされていないことも大きな原因となっています。

そのため、地球環境に配慮した持続可能な森林資源の調達が必要になります。

### 森林認証紙と環境保全

森林認証は、環境保全の点から見ても適切で、社会的な利益にかなない、経済的にも継続可能な森林管理を理念としており、責任ある森林管理から生産される木材とその製品を識別し、それを消費者に届けることで、責任ある森林管理を消費者が支える仕組みを作っています。そのため、森林認証紙を採用していただく、消費者に購入していただくことで、適切な森林管理を行っている組織を支援し、地球環境に配慮した活動に参加することに繋がります。

### 森林認証制度の仕組み

森林認証紙の銘柄は、最近多く販売されるようになってきました。しかし、森林認証製品として認められるには、CoC認証を取得した印刷会社で製造された製品である必要があります。(下図参照)

### 森林認証制度の仕組み

当社では、2009年にFSCのCoC認証 (SGSHK-COC-006077)、2012年にPEFCのCoC認証 (SGSJP-PCOC-1561)を取得しており、お客様の多様なニーズに応えられるようにしています。



## 法令順守

朝日印刷のコンプライアンスの基本的な考え方に基づき、環境マネジメントシステムにおいて、適切に法令が順守されていることを評価・確認する仕組みを構築しています。

さらに、組織全体で、より一層環境負荷の少ない材料の採用や生産設備の導入を進めて、環境負荷の低減に努めています。

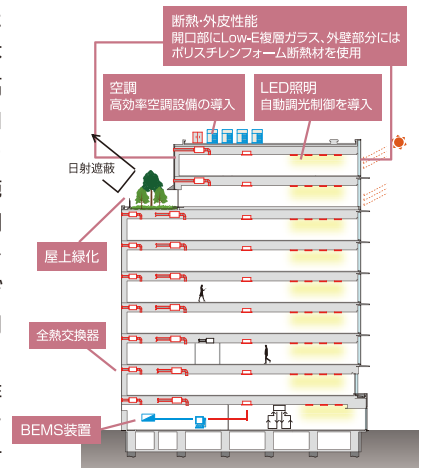
## 省エネルギー・省CO<sub>2</sub>活動

最もエネルギーを使用する生産を中心に、あさひ省エネルギー委員会・省エネルギーチームを組織して、省エネルギーや省CO<sub>2</sub>に関わる課題への取り組みを推進しています。



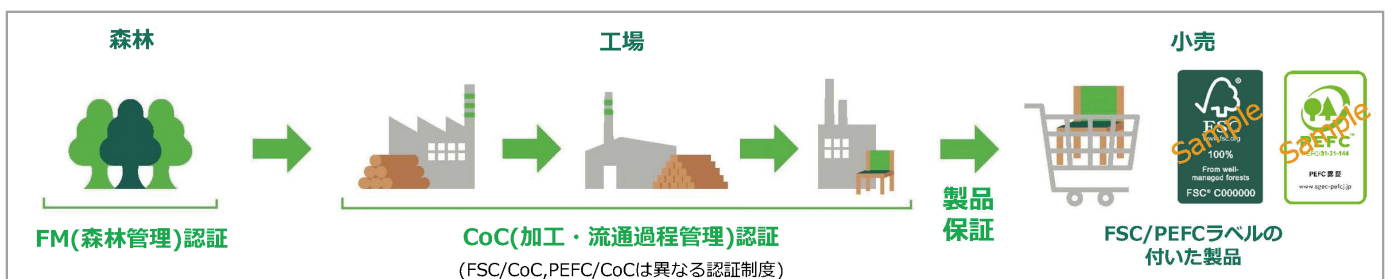
### 省エネ対応施設：本社ビル

2016年度に竣工した一番町スクエアビル（本社ビル）は、外壁部は高断熱素材を使用し、開口部は、Low-E複層ガラスによる断熱措置を施しています。また、空調設備は高効率のものを採用し、全熱交換器、デシカント調湿機を併用した構成となっており、空調機の総合効率是非常に高いものとなっています。照明設備も全灯LED+自動調光制御システムを設置し、照明においても高い省エネ性があるビルとなっています。



## 従業員へのCSR・SDGs教育の実施

従業員に自社がどのようなCSR活動を実施しているか、CSR活動をSDGsに照らし合わせて、自分たちはどのような役割を担っているのかを認識してもらうため、CSR・SDGsの教育資料を作成し、全従業員を対象に教育を実施しました。





# CSRテーマ 社会との調和

私達は、美と健康に関する包装事業を通じ、豊かで快適な生活文化の創造に寄与する活動に参加することで企業使命を果たしてまいります。

課題		2020年度実績	活動概要
朝日国際教育財団を通じた活動	奨学金支給人数計画の達成	32名	下記、朝日国際教育財団および財団HPをチェック
社会貢献	①寄付活動	当社設計のフェースシールドを製造・寄付	右記、「朝日オリジナルフェースシールド」をチェック
	②献血への積極的な協力・啓蒙活動	受入中止 (コロナ禍のため)	例年、年2回開催
	③地域活動への協賛・参加	中止 (コロナ禍のため)	地元プロチームのサポート活動は継続
朝日印刷ビジネスサポートを通じた活動	①採用人数 (障がい者の正社員雇用の継続・維持)	3名	法定雇用率は順守されている
	②フェイスシールド寄付枚数	2,683枚	右記、「朝日オリジナルフェースシールド」をチェック
学習教育・就労体験	①中学生の職業体験の受け入れ	受入中止 (コロナ禍のため)	例年、富山と京都で実施
	②機電工業会を通じた中学校への講師派遣	5回	ものづくり教育の一環として参画
	③大学3年生向け単独説明会	6回	インターンシップも年2回開催
情報発信	①IR活動(対面・WEB)	3回	個人投資家向け会社説明会
	②CSR活動情報発信	CSRレポート初発行	今後も定期的に発行予定
	③得意先様への環境提案活動 (CSR委員会が関与したもの)	10回	今後も要望に応じて、都度開催予定
	④海外発信	英文HPページ開設	今後はスマホ対応も検討中
社内イベント	①クラブ活動	15クラブ	従業員の福利厚生として実施
	②朝親会活動	従業員作品展	例年、クリスマス会やボウリング大会などを開催

## 公益財団法人 朝日国際教育財団

創業140周年記念で設立した公益財団法人 朝日国際教育財団では、富山県内の大学に在学するアセアン諸国及びその他海外からの有能な留学生に対しての奨学援助を行っています。将来、若者たちの夢が叶うことを願い、奨学支援ならびに留学生の交流等を行ってまいります。

公益財団法人朝日国際教育財団HP…<https://www.asahi-fie.com/>



## 全印工連CSRワンスター認定

全日本印刷工業組合連合会(以下、全印工連)様で認定されている、「CSRワンスター認定」※を取得しています。

※「全印工連 CSR認定」とは?

環境・安全・エネルギー・福祉・ライフスタイル P-00038  
など、企業を取り巻く環境が大きく変化するなか、持続可能な経営をするために、社会から求められる様々な要請に応えるCSR(企業の社会的責任)を重視した経営戦略が注目されています。

このようななか、全印工連では、CSR研究の第一人者である横浜市立大学の影山教授の監修のもと中小印刷業が取り組む「CSR取り組み項目チェックリスト」を策定し、積極的にCSRに取り組む企業の達成度を認定する「全印工連CSR認定制度」を創設されています。



## 地域未来牽引企業として

経済産業省「地域未来牽引企業」に選定されました

「地域未来牽引企業」とは従来から地域経済を牽引し、今後も地域の牽引役として魅力のある事業に積極的に取り組むことが期待される企業として、経済産業省より選定された企業となります。

弊社の「医薬品印刷包装生産事業」は、下記3つの視点から地域における経済活動を牽引する企業として選定されました。

### 地域未来牽引企業

地域特性を活用した事業の内容が特に優れている企業  
経営に優れた点がある企業  
事業を通じて地域経済を今後も牽引する企業

今後は、「地域未来牽引企業」として、地域の中核企業を支援することを目的とした法律「地域未来促進法」(国の補助金や税制優遇の対象となる事業の承認を都道府県が行う)を活用したさまざまな事業の取り組みを行ってまいります。

## 朝日オリジナルフェイスシールド

### 朝日オリジナルフェイスシールド製作でWin-Win-Win

「朝日印刷も自社の特徴を生かしてコロナ禍の社会でお役に立つことができないか？」と考え、当社独自の企画設計、PP・PET素材を使ったモノづくりの経験を生かして、オリジナルのフェイスシールド製作にチャレンジしました。

製品企画部・環境安全課・社長室が中心となり、メンバーで何度も試作や装着テストを行い、取引先にもご協力いただき、製造や仕様についてのアドバイスをいただきました。組立工程・包装作業は、特例子会社である朝日印刷ビジネスサポートが担うなど、いろいろな方が連携し、朝日印刷グループの力をフルに発揮した形で完成させることができました。(特許登録済)



完成したフェイスシールドは、地域への社会貢献の一環として、富山県児童クラブ連合会様に200セット寄贈しました。クラブ活動時などに活用いただければと思っています。また、社内では、工場案内時に活用しています。

その後、寄付先よりお礼の手紙や写真を頂き、文化祭で使用され、笑顔で接客することができましたとお返事を頂き大変意義のある活動であったと再認識することができました。



## Topic…「朝日印刷ビジネスサポート株式会社」の紹介

朝日印刷株式会社 特例子会社

包むころ・結ぶきずな



## 朝日印刷ビジネスサポート株式会社

朝日印刷ビジネスサポート株式会社は、障がい者雇用を目的とした朝日印刷の『特例子会社』です

### 特例子会社とは？

目指すのは『共生・理解・自立』

朝日印刷グループにとって  
必要不可欠な存在に！

「障害者雇用の促進等に関する法律」に基づき、企業が障がい者雇用を目的に設立する子会社のことです。障がい者に対するサポート体制を整え、障がい者の方が働きやすい環境で働いていただく会社です。

障がいのあるなしに関わらず、一人ひとりが個人の「能力」を最大限に発揮し、生き生きと働ける社会を実現すること。そして仕事を通して働く喜びや生きる尊さを学びながら社会的自立を図り、充実した生活を送ることを目指します。

親会社である朝日印刷から様々な業務を請け負い、業務の集約化・効率化に取り組むことで、朝日印刷グループになくてはならない存在となり、企業価値向上に貢献します。また、障がい者と健常者が心と力を合わせて未来に向かって共に成長し、地域社会に貢献できる会社を目指します。

### 会社概要

所在地 富山市婦中町板倉492番2(朝日印刷富山工場敷地内)  
TEL/FAX 076-461-5377 / 076-461-5319  
資本金 3000万円(朝日印刷100%出資)  
従業員数 20名(うち障がい者16名)※2021年4月時点  
事業内容 親会社朝日印刷の生産サポート業務、清掃・緑地管理業務

※朝日印刷ビジネスサポート株式会社は、2019年12月11日、「障害者雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社として厚生労働大臣の認定を取得しました。



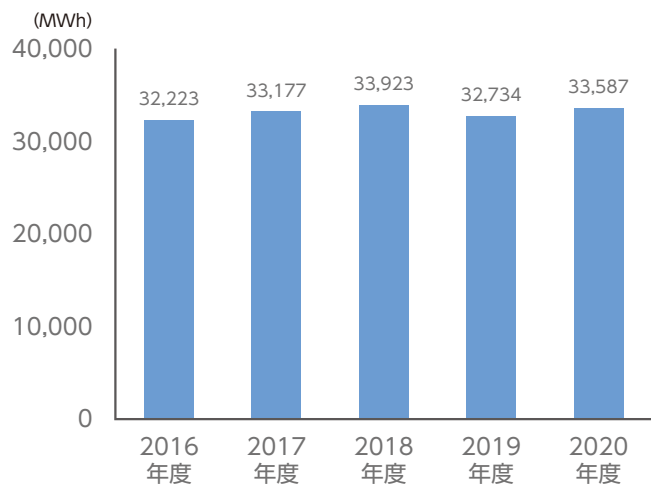
事業内容 >>> 社員一人ひとりが戦力として活躍できる場を提供していきます！



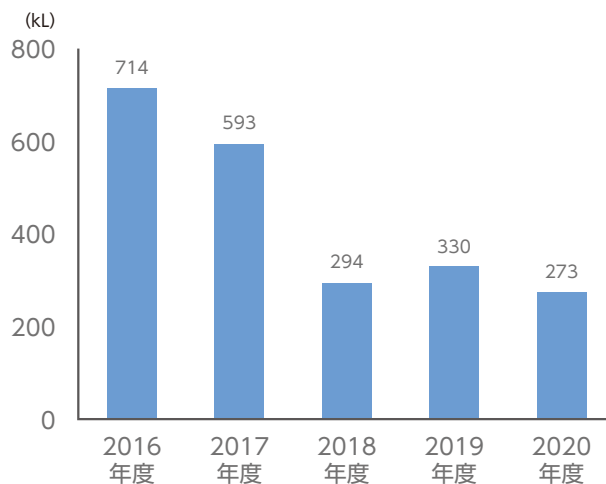
その他、生産現場サポート業務、リサイクル業務、パソコンセットアップ業務など様々な業務があります。今後さらに、障がい特性に応じた業務を創出し、多様な業務を展開していきます。

# 事業関連データ

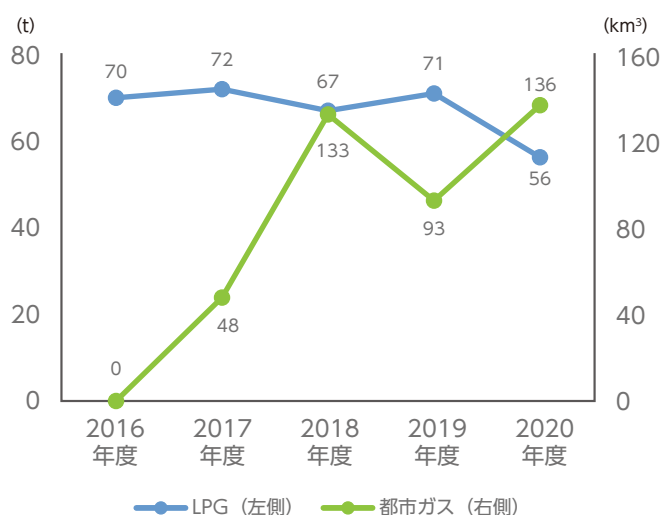
## 電力使用量



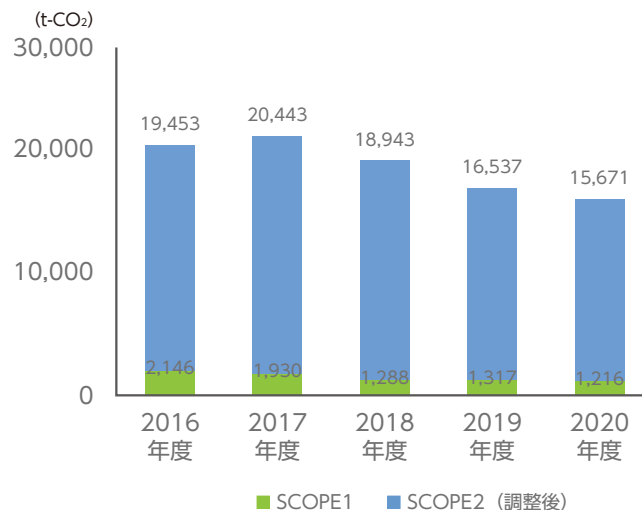
## A重油使用量



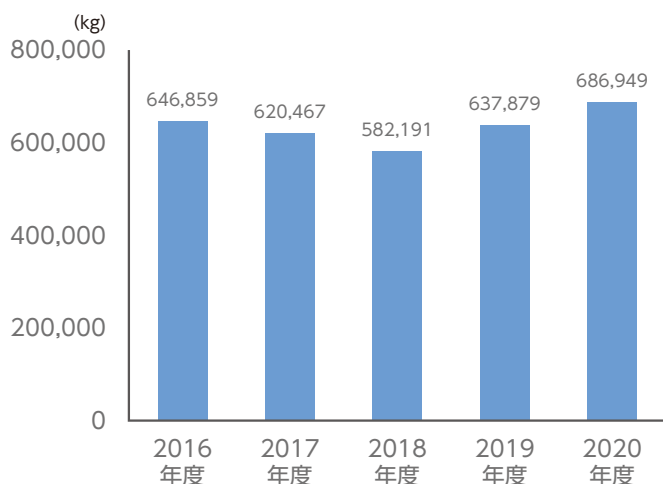
## ガス使用量



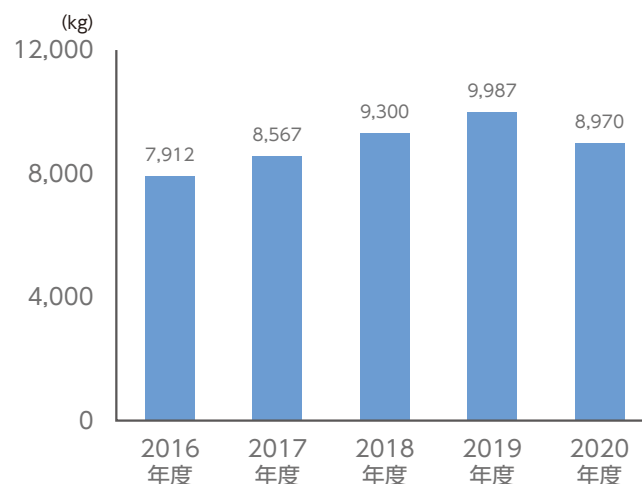
## CO<sub>2</sub>排出量



## 産業廃棄物排出量



## PRTR物質移動量



※PRTR物質：化学物質排出把握管理促進法に基づいて、人や生態系への有害性が認められる物質として指定されているもの

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 20 rows of 20 dashes each.



本冊子のアンケートになります。  
皆様のご意見をお聞かせください。

## 朝日印刷株式会社

社長室

〒930-0061 富山市一番町1番1号 一番町スクエアビル

TEL 076-491-6137

<https://www.asahi-pp.co.jp/>

発行 2021.07



電子冊子版